

走る小さな居場所

# 仏向ふれあいワゴン ～地域の夢の実現へ向けて～

2020年10月11日

横浜市仏向地域ケアプラザ

中村 美奈



# 1. 仏向ふれあいワゴンとは

山坂が多く、バス便も少ない仏向地区にお住まいの高齢者の困り事は①庭の手入れ②通院③買物。特に帰りの坂道を重い荷物をもって帰るのは一苦労



仏向地区の一番の課題である、移動の問題を地域で解決するために、仏向地区社協や自治会の代表による検討会が発足。地域ケアプラザや区役所、区社協の協力を得て移動支援に乗り出します。



仏向地区全体を二つに分けて、地区内の山坂をカバーするようにお買い物ワゴンを走らせることに。運営にあたっては、仏向地区社会福祉協議会が主体となり、仏向地区連合町内会が支援。横浜市仏向地域ケアプラザは事務局として協力している。

# 1. 仏向ふれあいワゴンとは



運転・添乗は、地域のボランティアが担います。



ボランティア養成講座の開催  
ドライバー・添乗員の調整

ボランティア募集

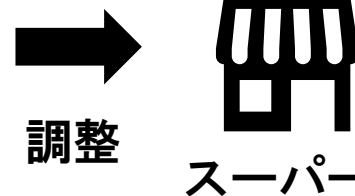
ボランティア

運営主体  
仏向地区社協

仏向地区  
連合町内会



仏向地域  
ケアプラザ



調整

スーパー

トヨタ・モビリティ基金の助成  
で購入した日産キャラバン

協力

保土ヶ谷区

保土ヶ谷区  
社会福祉協議会

1世帯2円の賛助金  
で事業を支えます。

事業の周知  
利用者募集

地域住民

利用登録  
利用申込



## 2. これからのビジョン



### 1. 買物以外の利用～地域の足として～

- 買物以外にもイベント等の際、送迎を実施。その他、自治会に無料で貸出等、地域の足として少しずつ確立してきている。これからは、ケアプラザや地域のサロンの往復も視野に入れ、将来的には、だれもが乗車できる巡回運行も実現したい。



### 2. 車を保有し続けるために

- トヨタ・モビリティ基金の助成で購入した車両のおかげで、事業が成立。事業継続のためにも、次の世代のために車両の積立が必要という意見から、積立を開始。今の車両もボランティアが中心となりメンテナンスをしっかりとっている。



### 3. シェアリングシステムの構築

- 保土ヶ谷区内は起伏の激しい地域が多く、同様の課題を持っている地域が近隣に多々ある。そういった地域と、ノウハウと車両をシェアし、小さい単位での移動支援を転々と広げることで、交通の課題解消に取り組む。

# ご清聴ありがとうございました

